

## 山口県岩国市 〈地域づくりとしての健康づくり～糖尿病になっても安心して暮らせる岩国市～〉

### 目的

糖尿病があってもなくてもすべての市民が健康でいきいき生活できる活力ある社会を実現させるために、市民一人ひとりが実践する健康づくりを基盤に、家庭・地域・学校・職域が一体となった新たな健康づくり運動を推進することを目的とする。

### 目標（平成 19 年度）

- 1) 市民・関係団体・行政が向かう目標を共通認識できる体制をつくる
- 2) 市民一人ひとりが実践する健康づくり活動が地域全体の健康づくり運動につながる仕組みをつくる

### 背景

平成 9 年から糖尿病対策を医師会等と連携して提供側主導で実態把握、患者登録管理システムの構築、重症化防止の基本健康診査要指導者対策、人間ドック事後指導等のハイリスクアプローチを実施。指導者数は増加したが知識の伝達に終わりがちで、指導期間中の生活習慣の変容はあっても指導後の継続はみられず、加齢に伴う重症化も進み効果は薄い。その後、平成 15 年度から健康づくり計画を市民参加で策定する過程で、市民にとっての健康は「からだづくり、仲間づくり、生きがい」を認識した。健康づくり計画を市民と協働して推進する中で市民がどうありたいのかを捉え、市民とともに取り組むポピュレーションアプローチを展開している。

### 特徴

住民との健康づくり計画の策定の経験を踏まえ、生活習慣病予防のハイリスクアプローチにおいても、「対象者がどのように検診結果や自らの生活習慣、体調を受け止めているのか」、「対象者はどのような生活を行いたいと思っているのか」を尊重する保健指導を重要視している。また、地域の健康状態を市民に随時フィードバックし、市民がそれぞれの立場で考え、語り合い、互いにできることを表明し行動する地域のネットワークを基盤としたポピュレーションアプローチを展開し、年 1 回の健診・保健指導とともに、地域で日常的に健康状態をチェックすることができる環境づくり（簡易血糖検査、BMI、腹囲測定等）を市民と協働し、できるだけ若い年代層の健康づくりを行おうとしている。

### 保健指導の流れ（ハイリスクアプローチ） 平成 17 年度

